

2023～2027年度で
必要な

43.5兆円

防衛費の 使い方について 説明します。



防衛省・自衛隊
MINISTRY OF DEFENSE



そもそも

国民の命や暮らしを守り抜く上で、
まず優先されるべきは、外交努力です。

その上で外交の裏付けとなる防衛力を
抜本的に強化していきます。

安全保障に関する重要なこと



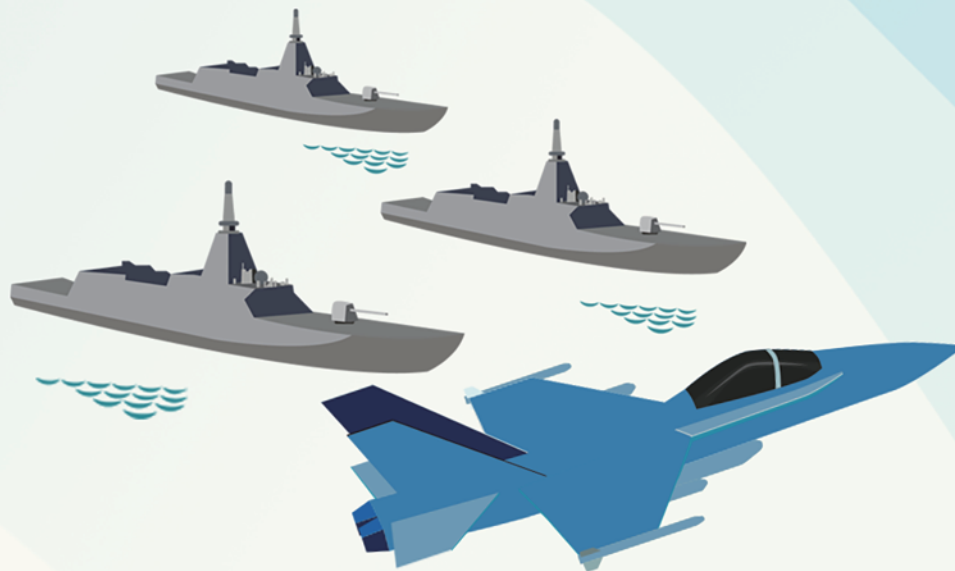
外交重視



憲法などの範囲内で



そもそも自衛隊は 戦闘機や護衛艦などを使って どんな仕事してるの？



国民の生命・財産や国の領域を守り抜くための活動
侵略しようとする敵がいなか警戒監視など
怪しい外国の飛行機が近づいてきた時、戦闘機で緊急発進
国を守るための訓練
ほか、大規模災害などにも対応している

国際社会には警察のような役割の組織がないため、これらの仕事が必要です。

自衛隊が抱える課題

弾道ミサイル防衛（BMD）のためのミサイルは

60%のみ



弾薬不足により...

**十分に能力が
発揮できない...**

例えば...BMD用ミサイルの充足率は60%
つまり
100発の弾が必要なのに
60発分しか
用意できていない...

装備品があるのに...

部品不足



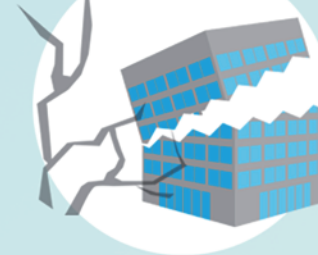
部品不足により...

**装備品が
動けないまま...**

例えば...
一般の飛行機や自動車のように
装備品にもメンテナンスが必要
その部品が足りないことで
メンテナンスができず動けないままに...

工事が必要な旧耐震基準の自衛隊施設が

約9,900棟



国を守る自衛隊の施設が...

**防護や耐震の
性能が弱い...**

例えば...
災害に対処する
自衛隊の施設が
地震で崩れるおそれ...

過去10年で応募者が

3割減少



少子化により...

**人材確保が
難しい...**

例えば...
国防を担う人材を
確保することが
困難となるおそれ...

国を守るための最低限の活動が、ままたらぬ現状...

国外の状況 そんな中、安全保障環境は大きく変化。日本は軍事活動を活発化する国と地域の最前線に...

ウクライナが受けている侵略などでは「新しい戦い方」が使われることに

大規模なミサイル攻撃

遠く離れた場所からも、たくさんのミサイルによる攻撃を受ける可能性も...



宇宙やサイバー無人機攻撃

例えば、無人機を活用した攻撃や、インフラへのサイバー攻撃を受ける可能性も...



情報戦などハイブリッド戦

SNSなどで偽情報を流し混乱を招く情報戦が... 偽情報に対応するための情報発信なども重要に

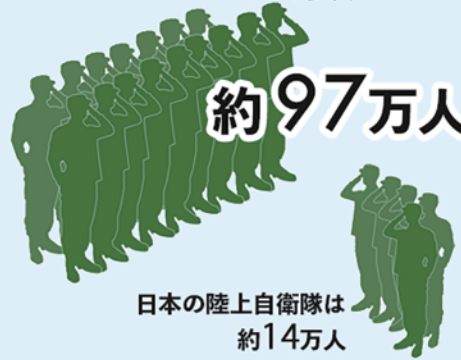


中国 年々、軍事力の強化を進めている現状

*人数、予算、数は2023年・年度の場合
**日本円の場合

陸上兵力人数*

約97万人



国防に関する予算*

約31兆円**

日本は6.6兆円



戦闘機の数*

約1,500機

日本は324機



北朝鮮

近年、実戦的な訓練発射を含めミサイル発射事案が急増している。



ロシア

ウクライナ侵略を行う一方、極東地域でも活発な活動を継続。中国と共同活動も実施。



5年以内に

そこで...**防衛力の抜本的強化**

国民の命や平和な暮らしを守るために、
2つの視点で防衛力を抜本的に強化

- ・本来やるべき仕事がちゃんとできるように
- ・時代の変化にあわせたパワーアップができるように

そのために必要な防衛費を確保する必要があります。

*これまでの防衛費は国内向け支出の割合が約8~9割を占めており、防衛力の抜本的強化は日本の経済成長にもつながります。

厳しい自衛隊の状況



この状況で、厳しく複雑な
安全保障環境に対処できるのでしょうか？

本当に国民の命と平和な暮らしを
守っていけるのでしょうか...？



持続性や強靱性

NOT ENOUGH



BMD用ミサイル*が
必要量の60%...

※弾道ミサイル防衛のためのミサイル



ENOUGH



BMD用ミサイルが
必要量の100%に！

NOT ENOUGH



部品不足で
動いていない装備品が...



ENOUGH



部品不足で動けない
装備品をゼロに！

NOT ENOUGH



防護性能がある施設20%
耐震性能がある施設60%



ENOUGH



防護性能・耐震性能
がある施設100%に！

※概ね10年後

5年以内に

本来やるべき仕事がちゃんとできるようにします。

15兆円
必要な防衛費のうち34%で

防衛力の強化 ちゃんと国民を守れるように。



攻撃されない安全な距離から
相手部隊に対処する能力を強化

長射程のミサイルの開発費用など

5兆円



全ての能力を融合させて戦うために必要な
宇宙・サイバー・陸海空防衛力の能力を強化

衛星などに関する装備品を買うための費用や、サイバー要員の育成費用など

8兆円



ミサイルなどの多様化・複雑化する
空からの脅威に対応する能力を強化

レーダーやミサイル防衛用ミサイルを買うための費用など

3兆円



迅速かつ的確に意思決定を行うため
指揮統制や情報関連の機能を強化

AI技術を活用した目標識別機能や、電波情報収集機を買うための費用など

1兆円



無人装備による
情報収集や戦闘支援の能力を強化

偵察用の無人機を買うための費用など

1兆円



必要な部隊を迅速に機動・展開するため、
海上・航空輸送力を強化

これらの能力を活用し**国民保護を実施**

2兆円

時代の変化にあわせたパワーアップができるように

防衛生産・技術基盤の強化 1.4兆円

人的基盤強化など・基地対策 6.6兆円

防衛産業は利益が出にくく、企業は日本の防衛に関わるが故にサイバー攻撃を受けています。

このまま放っておいて、企業が撤退してしまうと日本の防衛力そのものに大きな打撃も...

さらに、将来の戦い方を

見すえた装備品の研究開発も必要不可欠です。

だからやります！

- 防衛省が認定した企業への財政上の措置 など
- 優れた装備品を創るための研究開発に集中投資



その他、防衛力を強化するための施策を行っていきます。

例えば、人的基盤の強化についてご紹介します。

- 人材の育成
- 女性自衛官の活躍支援
- 採用強化
- 予備自衛官の活用
- 生活・勤務環境の改善
- 衛生機能の変革など



まとめ

**必要な防衛費を確保して、ちゃんと仕事ができるように。
国民の命や暮らしを守り抜きます。**

